



Mineo Hayashi

Cello Recital

Piano Miyuki Matsuda

林峰男

チェロリサイタル



プログラム

クープラン

5つの演奏会用小品集

プーランク

チェロソナタ

黛敏郎

文楽

ドホナーニ

ルラリア・フンガリカ
(エレジー)

レスピーギ

アダジオと変奏曲

4.13

2019 |土|

18:00 開演 <17:30 開場>

バロックザール
Barocksaal

京都 青山音楽記念館

入場料 / ¥4,000 【全席自由】※未就学児の入場はご遠慮ください

チケット販売 / 青山音楽記念館 ☎075-393-0011 ※セブンイレブン等でも購入可

チケットぴあ ☎0570-02-9999 (Pコード 141-196)

後援 / 一音寺

お問合せ / 青山音楽記念館 ☎075-393-0011 〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1

一音寺 ☎075-571-0006



ピアノ 松田みゆき
Miyuki Matsuda

Mineo Hayashi Cello Recital

Piano Miyuki Matsuda

林峰男 チェロリサイタル

林峰男 Mineo Hayashi / チェロ

幼少よりチェロを才能教育で学ぶ。桐朋学園にて斎藤秀雄氏に師事。その後、ジュネーブ音楽院を第1位で卒業。翌年スイス・ローザンヌ室内管弦楽団のソリストとしてヨーロッパにおいてデビューを飾った。1975年、ベオグラード国際チェロ・コンクール第1位に輝く。1976年にはワシントンD.C.とニューヨークのカーネギーホールでリサイタルを開き、アメリカ・デビューを果たした。就中、カーネギーホールのリサイタルは、ニューヨーク・タイムズが絶賛した。また翌年にはスペインで開催された「カザルス生誕百周年記念コンサート」に招待され、日本を代表するチェロ奏者として高く認知された。1976年以来、スイス/ロマン管弦楽団、ザグレブ・フィルなど数々のオーケストラと共演する一方、室内楽、リサイタルなど数多くの演奏会をスイスを本拠地としながら世界各国で開いている。この間、1985年にはバッハ生誕300年を記念して「無伴奏チェロ組曲全6曲」を一夜で演奏するという画期的な演奏会企画で、全国17カ所・日本縦断コンサートを行い脚光を浴びた。また、栃木県大谷石洞窟内で、月光を受けながら行った二夜連続の演奏会は、毎日新聞にも取り上げられ大きな反響を得た。京都・常寂光寺、東京・増上寺(開創600年記念)の本堂でリサイタルを行い、当日会場を埋め尽くした満員の聴衆に深い感動を与えた。無伴奏チェロ曲を集めたCDも、欧州と日本で発売され、「レコード芸術」や「音楽の友」で高く評価され、現在でも隠れたベストセラーとなっている。1995年には、カザルスホールにおいて「デビュー20周年4日連続演奏会」を開催、ピアノの園田高弘氏との共演をはじめ、無伴奏リサイタル、オーケストラとの共演、チェロ・アンサンブルという多才な内容は、朝日新聞でも大きく取り上げられ、連日ホールを満席にした。今後ますますの活躍が期待される日本の代表的なチェロ奏者の一人である。スイス・ローザンヌ音楽院で長年に渡り教鞭をとる。現在、国際スズキメソード音楽院教授を務めるなど、後進の指導にも力を注いでいる。

Seiko ISHIDA

松田みゆき Miyuki Matsuda / ピアノ

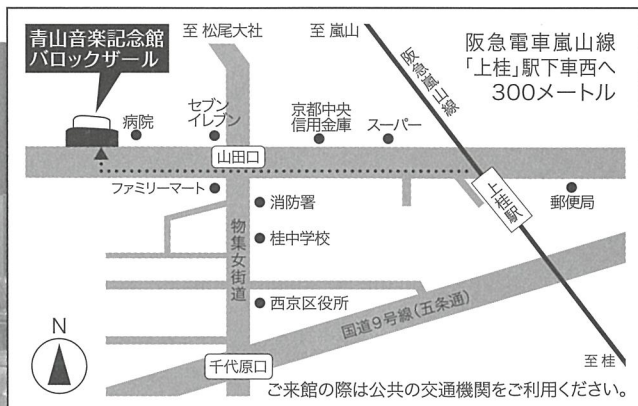
2001年京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業。PTNAピアノコンペティションD級西日本大会第2位、第4回万里の長城杯国際音楽コンクールピアノ部門一般の部第1位、第28回京都芸術祭に於いて京都市長賞、他受賞。京都国際学生フェスティバル2000、色々なホールや財団、企業主催のコンサートに数多く出演。2002、2017、2018年、京都、大阪にてソロリサイタルを行う。神戸市演奏協会・神戸市混声合唱団専属ピアニストを2年間務める。これまでに、国内外のマスタークラスを、多数受講。ピアノを井上宏子、島崎清、神谷郁代、(故)種田直之、の各氏に師事。ボスコミュージックより、ピアノソロアルバム「愛の物語」をリリース。現在、室内楽、ソロ、数多くの演奏家との共演、妹・小林千夏とのピアノデュオ、コンクール伴奏、オーケストラの中の鍵盤奏者等、幅広く活動中。びわ湖国際フルートコンクール公式伴奏者。ムジカA国際音楽協会会員。



AOYAMA
MUSIC FOUNDATION
KYOTO, SINCE 1987

Barocksaal

巴ロックザール
京青山音楽記念館



200席の室内楽専用ホール

〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1 ☎075-393-0011